合格体験記
-合格のための勉強方法-

2025年2月8日
弱小診断士勉強会
渡壁　仁

自己紹介

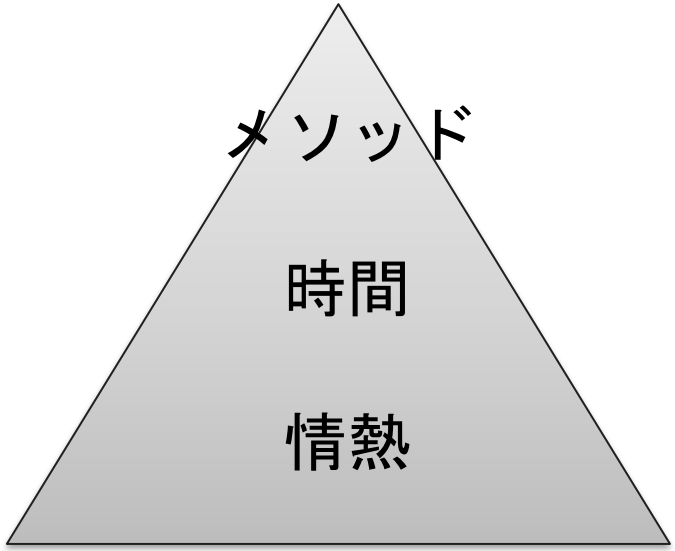
- 名前：渡壁　仁(わたかべ　ひとし)
- 年齢：昭和60年生まれ。39歳
- 出身：京都府舞鶴市
- 居住地：東京都
- 仕事：中小企業の会社員(営業事務＆情シス)

本日のテーマ

「合格するための勉強法」

合格するための3つの要素

1. 情熱
2. 時間
3. メソッド



勉強の経歴

2023年8月　勉強開始(診断士ゼミナール)

2024年4月　1次試験過去問の勉強を開始する

弱小診断士勉強会入会

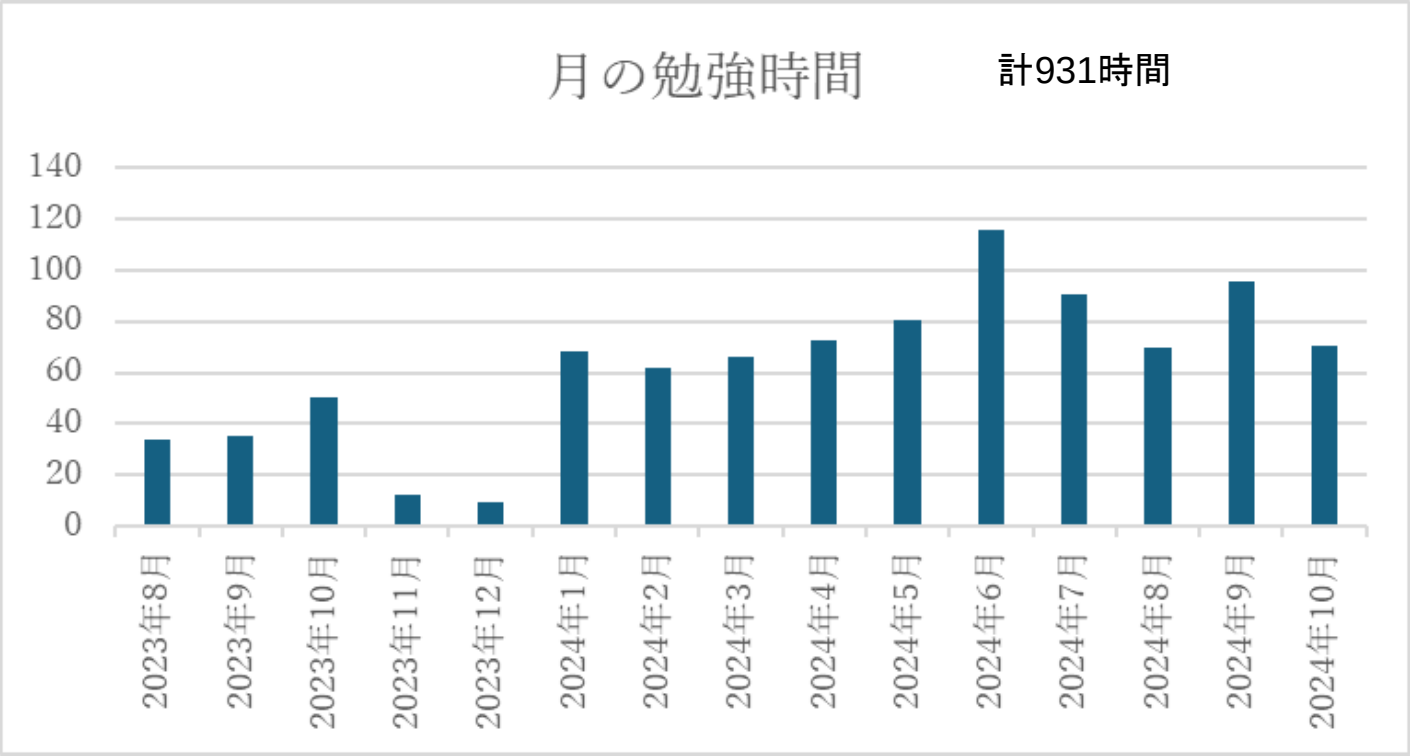
2024年5月　LECステップアップ模試　367点

2024年6月　LECファイナル模試　461点

2024年8月　一次試験　519点

2024年10月　二次試験

勉強時間


月の勉強時間
計931時間
140
120
100
80
60
40
20
0
2023年8月
2023年9月
2023年10月
2023年11月
2023年12月
2024年1月
2024年2月
2024年3月
2024年4月
2024年5月
2024年6月
2024年7月
2024年8月
2024年9月
2024年10月

勉強のために使った手法

- コーチング
- オンライン自習室(ヘラジカ)
- 診断士勉強会の会場を使って空いた時間に自習

一次試験の勉強方法

一次試験の一番の教材は過去問

1. 論点別に過去問を解く
2. 解説を見て理解する
3. 理解した内容を暗記カードに書く
4. 暗記カードを繰り返し解く
5. 知識が定着する

論点別に過去問を解く

5年分の過去問を用意して、論点別に過去問を解いていきます。

TACの過去問題集の巻末に論点別に問題が区分けされて掲載されています。

難問であるD問題やE問題は覚えても得点につながりにくい為、飛ばした方が良いと思います。

解説を見て理解する

問題を解いたら、過去問題集の解説を読みます。正解選択肢だけではなく、不正解の選択肢のどこが間違っているかも理解します。
この時理解を深めるためにYouTubeで解説動画を見るものおススメです。私のイチオシは「たかぴーの中小企業診断士試験 攻略チャンネル」です。

理解した内容を暗記カードに書く

一度理解したことも時間が経つとすぐに忘れます。
本番で正解するためには知識を記憶に定着させる必要があります。
私は暗記カードアプリを使っていました。
4月から7月くらいまでで、約1100枚程度の暗記カードを作成しました。

暗記カードを繰り返し解く

「Anki」という暗記カードアプリを使って、朝夕の通勤時間に各30分ずつ解いていました。
同じ暗記カードを1日に3回、4回と繰り返し解いていると知識が記憶として定着していくのを実感しました。
私にとってはこのプロセスが最も得点向上につながった学習時間だと考えています

過去問塗りつぶし勉強法

まとめシートの野網先生のYouTubeで紹介されていた方法です。
過去問を解いて理解できた問題を塗りつぶしていき、理解できていない問題だけを繰り返し解くという方法です。

経済学

10/8 R4 5/00

問題	1回目	2回目	3回目
1	—		
2	○		
3	△	○	○
4	×	○	
5	○	○	
6(1)	○	○	○
6(2)	×	×	○
7(1)	×		○
7(2)	×		○
8	○	○	○
9	×	○	×
10	—		
11	×	×	×
12	×	×	×
13	○	○	
14	×	○	○
15(1)	○	×	○
15(2)	○	○	
16(1)	×	○	○
16(2)	×	○	
17	○	○	○
18	×	○	○
19	—		
20	○	○	
21	△	×	×

44点

4/30 R3

問題	1回目	2回目	3回目
1	×		
2	○		
3	○	○	
4	○	○	
5(1)	○	○	○
5(2)	×	○	○
6(1)	○	○	
6(2)	○	○	
7	×	○	○
8	×		×
9	○	○	○
10	×	○	×
11	○		
12	○		
13	○	○	
14	○	○	
15	○	○	○
16	×	○	○
17	○	○	
18	○	○	
19	○	○	○
20	×	○	
21	×	○	
22	○		×
23	○	○	○

67点

10/9 R2

問題	1回目	2回目	3回目
1	—	○	
2	—	○	
3	×		
4(1)	△	○	○
4(2)	×	○	×
5	○	○	
6(1)	○	○	
6(2)	○	○	
7	○	○	
8	×	×	
9	△		
10	×	○	
11	△	○	
12	△	○	
13	○	○	
14	○	○	
15	○	○	
16	○	○	
17	△	○	
18	△	×	
19	○	○	
20	△	×	
21	×	×	
22	×	○	
23	○	○	○

76点

5/6 R1

問題	1回目	2回目	3回目
1	○		
2	×		
3	×	×	
4	○	○	
5(1)	×	×	○
5(2)	○	○	○
6	×	○	
7	×	×	
8(1)	×	○	
8(2)	○	×	
9	×	×	
10	○	○	
11	×	○	
12	○	○	
13	○	○	
14	○	○	
15(1)	○	○	
15(2)	○	○	
16	○	○	
17	×	○	
18(1)	○	○	
18(2)	×	×	
19	○	○	
20	×		
21	○	○	

56点

3/19 R5

問題	1回目	2回目	3回目
1	○		
2	×		
3	○		
4	○	○	
5	×	○	×
6	×	○	○
7	×	×	
8(1)	○	×	○
8(2)	○	○	
9	×		
10(1)	×	○	
10(2)	○	○	
11(1)	×	○	○
11(2)	○		
12	○	○	○
13	○	○	
14	○	○	
15	○		
16	○	○	
17	○	○	
18	×	○	
19	×	○	
20	×		
21	○	○	
22	○	○	

50点

解いた問題　／ 125　進捗率：　%

一日でわかる！覚えてしまう！ 一発合格 まとめシート

一次試験は積み重ねていく事で得点を
伸ばせる試験だと思います。
分からないを一つ一つ分かるに変えて
いき得点を積み重ねていってください。

二次試験の勉強方法

二次試験は正解の分からない試験です。
どうすれば得点を伸ばす事が出来るのかという明確なメソッドもありません。
なのでこれからお話しする内容は個人的な私の見解です。

「論点」と「キーワード」

「論点」とは何について問われているか、というテーマ。
例えば今年の事例Ⅰの設問②で言えば、「プロジェクトチームを作った理由」と「長女をリーダーに任命した理由」という2つの論点がありました。

「論点」と「キーワード」

「キーワード」は各論点の中の回答要素の事で「スピード感のある意思決定を行う事」や「後継者としての経営スキルの育成」などが解答の「キーワード」です。

「論点」と「キーワード」

恐らく、一つの設問に対して20点の配点が有ったとすると、その中でAという論点に対して10点の配点。Bという論点に対して10点の配点。という構成になっている。
そして論点の中でC・D・Eというキーワードを書いていればそれぞれ3点ずつ加点というような採点方法ではないでしょうか。

論点を外しては絶対にいけない

「ふぞろい」を活用する

ふぞろいに記載されている「論点」と「キーワード」は実績に基づいているため、妥当性が高いと思います。
なぜその論点が配点対象となっているか？
なぜそのキーワードの配点が高いのか？
それを解説を読んだり、勉強会での議論を通して腹落ち出来るまで考える。

自分なりの採点基準の感覚を身に付ける

自分なりにどういう事を書けば得点になるのかという感覚を身に付けてください。

私はふぞろいの採点に自分の感覚をなじませるようにしました。

自分なりの採点の感覚を身に付ける事で、初見問題でも、この程度の内容が書けていれば合格点に届いてそう、という感覚がつかめてくると思います。

落とすための試験

一次試験は得点を積み重ねていくイメージです。
一方で二次試験は得点を取りこぼしていきながら、最後まで何とか60点を確保するイメージです。
設問文を長くしたり、与件文が複雑だったりと、何とか得点を落とそうとしているように感じます。
必要な論点を落とさずに「無難」な解答を心掛ける事が大切だと思います。

二次試験への取り組みのポイント

- 過去問は正解を覚えるのではなく、傾向を理解する
- 80分の使い方を固める
- SWOT分析＋事例企業の課題特定
  ⇒事例全体のストーリーを掴む
- キーワードの抽出は機械的にやりながら、どのキーワードを優先するかは全体のストーリーとの整合性で判断

80分という限られた時間で完璧な解答を作る事は不可能だと思います。
その中で得点能力を高めていくためには、書き上げた解答を見直すだけでは不十分だと思います。
解答を作るまでの80分のプロセス自体を見直していく事が必要だと思います。

以上が私なりの
合格するための勉強法です

最後に
弱小診断士勉強会で関わってくださった方々、本当にありがとうございました。

これから執行部として皆様がより良い勉強が出来る様、サポートしていきたいと思います。
お気軽にご相談、お声がけください。

受験生の皆様
文字通り人生を賭して試験に立ち向かわれる皆様を心から尊敬しています。
今年の合格目指して頑張ってください！